

函館生涯学習インストラクターの会

情報誌 平成24年度(第5号) 8月31日発行

会長 島貫 徹彦

編集責任者 浜田 愷

☆ネット情報 {報告・情報・連絡}

- ☆ 8月 3日 3役会議(「ともえシニアカレッジについて」について)
- ☆ 8月16日 月例研修会 「函館山の歴史と観音様と花と」 横内輝美さん
- ☆ 9月 1日 NPO祭り 「パネル展」・「資料配布コーナー」準備
- ☆ 9月 2日 NPO祭り 「パネル展」・「資料配布コーナー」に参加
- ☆ 9月20日 月例研修会 「絵手紙を描く」会員 菊地 則子
- ☆ 9月28日 平成24年度第2回学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業研修会 選択研修Ⅰ・Ⅱ 当会筆頭幹事 武部祐子会員が
演習「創造性はぐむくむ活動プログラム」の講師を努めます。要会員の支援
- ☆ 11月20日 24年度「ともえシニアカレッジ」開講

☆広場の声【自らの感じ、気づいたこと(随筆・旅行記・文芸)】



～人生に丸がついたよ生涯学習～

(北海道八雲町で活動中の

木村さえ子さんを紹介します。)

小林 肇

木村さえ子さんは、北海道美唄市の出身で岩見沢東高から札幌大谷短大音楽科卒・同専攻科「ピアノコース」修了後、松前・小島中学校の教職に就くが、ご主人の転勤に伴い退職八雲町に居住する。

私が木村さんの事を知り得たのは、今年の(財)社会通信教育協会「まなびの達人・あそびの達人」認証者名簿の中に、私を含め当会会員と同じ認証者に八雲町でただ一人の生涯学習インストラクター・コーディネーターの有資格者として私達と同じ渡島管内で生涯学習推進活動されている事を知りました。

同じ志を持った仲間として、どんな活動をされて居るのか知ることによって又私達の会と交流することで輪を拓ける事が出来るのではないかと思い、協会の酒井次長に紹介の労をとっていただき、互いに連絡がとりあえるようになり、木村さんとても多才



な方とみえて20年ぐらい前から油絵を描いており、赤光社美術展等に入選などしており今年八雲町立図書館で個展を開催と聞き8月9日に妻と八雲に伺い個展会場でお会いし情報交換ができました。

木村さんは、当会のホームページを閲覧しており当会の活動状況を周知しており賞賛の言葉を頂きました、又平成19年の北海道・東北ブロック生涯学習インストラクターの会交流研修会に参加されていたと聞き、とても大きな仲間意識が感じられました。

木村さんは、人口の少ない町では実生活の於いては生の音楽に触れる機会が全くないことを感じ、又地域住民にもあまり関心がないことから『音楽をもっと身近に』と考え、学校等で校内コンサートをひらくことが出来ないかと相談し、町内外の音楽教師にも働きかけ生徒たちに自分達で出来る範囲で生の音楽を肌で感じてもらう、そして教師も専門の分野を研鑽し楽しみもうと、第一回のコンサートを立ち上げ開催し、生徒だけでなく地域の方々にも喜ばれ、広く誰でも聴けるような環境で続けてほしいとの声で、ロビーコンサートの開催に取組み町公民館使用を条件付きで許可を取り開催初年度は3回開き、次年度へつなげ、会場も商工会議所・図書館のエントラスホールで開催その活動が認められ、ある校長先生のアドバイスで、団体名「八雲音楽協会」と新たなスタートを切り、さまざまな場所での活動する機会が増えましたが、定期的継続を望まれましたが、予算の関係や、教職者の異動等で断念いたしました。現在も予算がない中、ロビーコンサートは続けていますと話しておりました。

確かに、ある事業を開催するには資金面の手当が自治体の財政難で補助が削減されている中、新たな方法を見出す事が重要課題だと私も実感します。



今後、交流を深め色々な事をお互いに情報交換しあい活動発展を認識し確認出来ました。

本当に多才な木村さんです、油絵の教室・手作りパン教室等ボランティア活動を行っております。

妻と函館にかえる時、木村さんが私達のために焼いてくれた手作りパンをいただきました。食するとふかふかとしたパンの香りが暖かさを感じさせとても美味しい逸品でした。ごちそうさま、そして有難う御座いました。